

市第25号議案 令和2年度横浜市一般会計補正予算（第2号）（医療局関係部分）

1 補正額

（単位：千円）

事業名	6月補正前 現計予算	補正額					6月補正後 現計予算
		国・県費	その他	市債	一般財源		
Y-CERT強化事業費 （くらし・経済対策による補正）	3,167	3,202	0	0	0	3,202	6,369
医療従事者等新型コロナウイルス 感染症対応力強化事業費 （くらし・経済対策による補正）	0	22,000	0	0	0	22,000	22,000

2 Y-CERT強化事業費

(1) 補正内容

4月に設置した「横浜市新型コロナウイルス対策感染症・医療調整本部（Y-CERT）」の運営方針の決定や医療機関との調整に医学的見地からの助言が必要であることから、横浜市災害医療アドバイザーの受入れに係る人件費を追加補正します。

<補正予算積算額>日額 17,400円×92日×2人/日 = 3,201,600円

横浜市災害医療アドバイザーとは、大規模災害時等に医学的見地からの助言、指示、調整等に協力を行うもので、市内の救命救急センター長と横浜市医師会の救急担当からそれぞれ選任されています。（身分：地方公務員法第3条第3項第3号に定める非常勤特別職の参与）

(2) Y-CERTの設置目的

新型コロナウイルス感染者の発生状況や、市内の医療機関の入院状況などを一元管理し、円滑な感染者患者の入院と平時の救急医療との両立を図り、医療崩壊を防止することを目的としています。

※Y-CERT・・・Yokohama Coronavirus Emergency Response Team

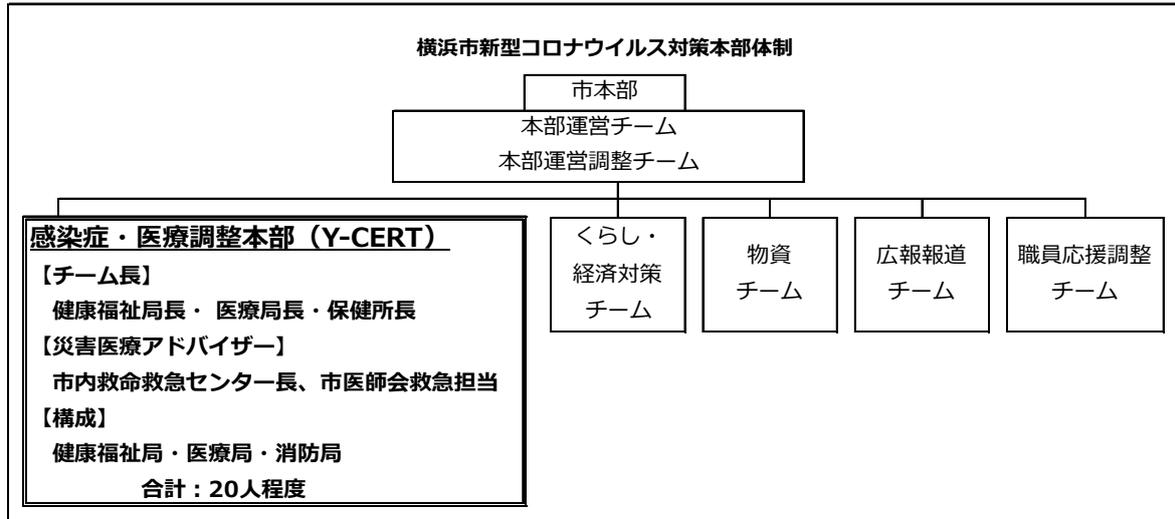
(3) 主な業務

ア 市内医療機関の新型コロナウイルスに対する受入可能病床数、入院患者数、人工呼吸器・ECMO使用状況などの一元管理

イ 新型コロナウイルス感染者の転院調整

ウ 新型コロナウイルス感染症神奈川県対策本部、医療関係団体等との調整機能

【参考】



### 3 医療従事者等新型コロナウイルス感染症対応力強化事業費

#### (1) 補正内容

今後の横浜市内での新型コロナウイルス感染症の流行に備え、医療機関等が新型コロナウイルス感染症対応を適切に行えるよう、医療従事者の感染症に関するスキルアップが必要です。

そのため、病院職員が感染管理などの感染症対応の研修・学会等に参加する際の参加費を、医療機関に対して補助します。

また、个人防护具の着脱方法や消毒、施設内でのゾーニングを適切に行えるよう、感染症の専門家等による集合研修を実施するための講師謝金や会場借り上げ費用、物品購入費等を補正します。

#### <補正予算積算額>

- ①研修参加等支援：20,000円×100人 = 2,000,000円
- ②集合研修：各区2回程度 計36回 20,000,000円

#### <対象>

- ①研修参加等支援：病院
- ②集合研修：病院、診療所、訪問看護ステーション、介護老人保健施設など